

# 今が分かる

## ふくしまの新聞

vol. 11

2013年9月18日

発行：福島県避難者支援課 ☎024-523-4157

※この広報誌は「クウェート救援金」を財源として発行しています。

福島県が発行する「ふくしまの今が分かる新聞」では、県内に居住している皆様、福島県内外に避難されている皆様、そして被災者・避難者支援に携わる多くの皆様へ、避難者支援の状況や福島復興への動きなど「今ふくしまが何をを行っているか」が分かる情報をお届けします。

### 福島県が整備する復興公営住宅についてお知らせします

平成27年度までの入居に向けて、概ね3700戸の整備を進めています！

福島県では、原子力災害により避難されている方々のコミュニティの維持・形成の拠点となる復興公営住宅の整備を進めています。平成27年度までの入居を目指し、全体で概ね3700戸(\*)を整備する予定です。  
\*戸数については現時点の計画であり、今後、住民意向調査の結果等を踏まえ見直しを行っていきます。

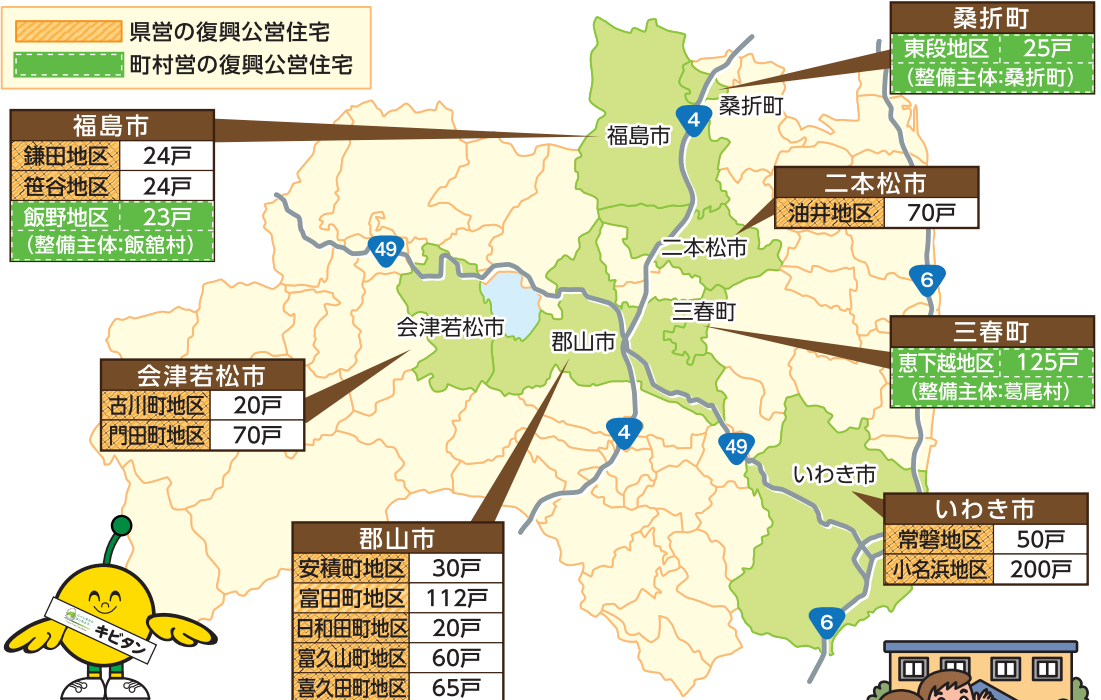
### 復興公営住宅とは？



※写真は完成イメージです。  
原子力災害により避難指示を受けている方が入居できる公営住宅です。  
※募集の時点で、現に避難指示が出ている区域に平成23年3月11日現在、居住していた方が対象になります。

### 整備戸数及び整備箇所

(平成25年8月現在)

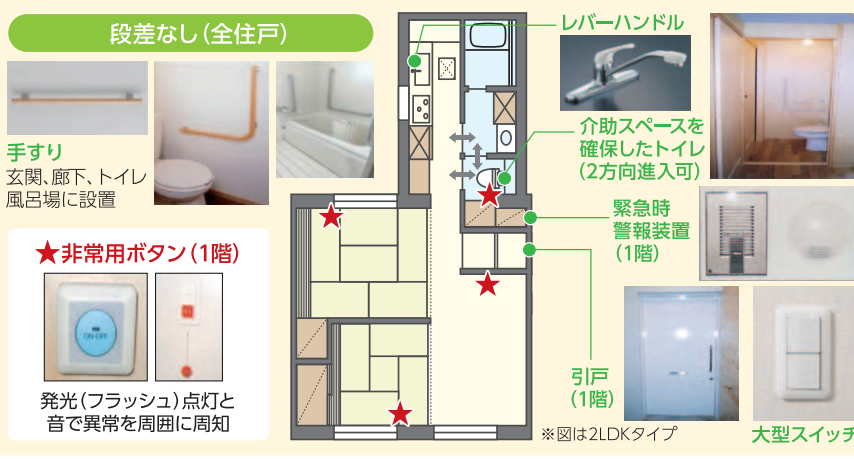


**主な整備予定地域** 福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、二本松市、南相馬市、桑折町、川俣町、大玉村、三春町、その他  
※現時点での主な整備予定地域は上記の市町村となりますが、今後の国・県及び関係自治体との協議において決定していきます。



### ユニバーサルデザインに配慮

段差のない居室やエレベーター(3階建て以上)など、高齢者や障がい者を含む世帯等にも配慮した造りとします。また、コミュニティの拠点となる集会所や、共用部分のための太陽光発電設備を設置します。



### 先行展示施設

避難されている方々に、復興公営住宅と同様の間取りをご覧いただき、具体的な入居イメージを体験し、入居への判断材料としていただくための先行展示施設を整備します。  
(完成予定平成26年初め頃)



福島県避難地域復興局生活拠点課  
福島県土木部建築住宅課  
024-521-8617  
024-521-8049

### 住まいの再建・復興を応援します

#### ふくしま復興住宅フェアの開催について

東日本大震災による被災者等の住宅再建の支援や、県民の居住の安定確保を図るため、県と建築関係団体等が連携して「ふくしま復興住宅フェア」を開催します。このフェアでは、被災者等の住宅再建や住まいに関する様々な情報を発信するとともに、個別の住宅相談等を行います。

また、木工教室、ミニ縁日コーナーなど親子で楽しめるイベントも多数用意しています。



<b>福島市</b>	日時	11月23日(土・祝)、24日(日)
	場所	福島県青少年会館
<b>いわき市</b>	日時	12月7日(土)、8日(日)
	場所	クリナップ井上記念体育館
<b>郡山市</b>	日時	平成26年3月15日(土)、16日(日)
	場所	ビッグパレットふくしま

**開催内容**

- 被災された住宅の再建支援や住宅の新築・増改築リフォーム等の相談対応
- 住宅の各種補助制度や融資相談対応
- 賃貸住宅や不動産等の住まいに関する様々な各種資料の情報提供
- 地域住宅事業者や設備関係等の各種情報の展示

#### 福島県の木造住宅耐震化支援事業について

東日本大震災を教訓とし、木造住宅の耐震化を一層促進していくため、「耐震診断」と「耐震改修」を支援します。安全で安心できる住まいづくりに向けて、積極的に活用ください。

<b>安全安心耐震促進事業(耐震診断)</b>	
対象	①所有者が居住する戸建て住宅 ②昭和56年5月31日以前に工事着手した住宅 等
補助額	1戸当たり15万円まで ※数千円程度が自己負担となります。
<b>安心耐震サポート事業(耐震改修)</b>	
対象	耐震診断の結果、現行の耐震基準を満たさない住宅 等
補助額	1戸当たり工事費の1/2かつ最大100万円(改修内容によっては60万円)まで

※詳細は市町村の窓口にお問い合わせください。  
福島県土木部建築指導課  
024-521-7529

#### 森と住まいのエコポイント事業

一定の要件を満たす木造住宅を建設する方に、地域の農林水産品等と交換可能なポイントを交付します。

<b>申請期間</b>	平成25年8月1日～平成26年2月28日
<b>交付要件</b>	下記要件すべてに該当する方が対象となります。 ・県内に自ら居住するための木造住宅であること ・施工者の主たる営業所は県内にあること ・平成25年4月1日以降に着工している住宅であること ・主要構造材及び間柱において一定量以上の県産木材を使用していること
<b>助成内容</b>	一般向け 20万ポイント/棟 被災者・避難者向け 30万ポイント/棟 ※1ポイントは1円相当

#### 福島県復興資金(二重ローン)利子補給事業

東日本大震災で被災した住宅にローンが残っている方が、新たな資金を借り入れて福島県内に住宅を再建される場合、既存の住宅ローンの5年間の利子相当額を補助します。

<b>申請期間</b>	平成24年2月7日～平成28年3月16日
<b>交付要件</b>	下記要件すべてに該当する方が対象となります。 ・東日本大震災により自ら居住していた住宅が被災し、市町村から全壊、大規模半壊、半壊の「防災証明書」の発行を受けた方 ・平成23年3月11日時点で、被災住宅に対して500万円以上の既存住宅ローン残高がある方 ・福島県内に自ら居住する住宅に対し、新規に500万円以上の融資を受ける方
<b>補助額</b>	140万円を上限に、既存住宅ローンの5年間の利子相当額を補助します。

被災者向け住宅相談窓口  
福島県土木部建築指導課  
024-521-7698  
024-521-8184

# 県内 イベント情報



## 双葉郡 ふたばワールド 2013

双葉郡8町村による交流イベント「ふたばワールド2013」を広野町で開催します!! メインイベントとして、特製「大鍋すいとん汁」を無料でふるまうほか、伝統芸能等のステージパフォーマンス、来場者参加型企画や双葉郡8町村の復興・商店街など、楽しい企画が盛りだくさん!!

※当日は、県内各地から会場までの送迎バスも運行予定です。

**日時** 10月19日(土) 10時~15時  
**場所** 広野町総合グラウンド(双葉郡広野町中央台1丁目-5)  
**問** 「ふたばワールド2013」実行委員会事務局  
 ☎024-521-8023



## 広野町 第19回 ひろの童謡まつり音楽祭

“童謡の里”広野町で「ひろの童謡まつり音楽祭」が開催されます!! 海・山・川の美しい自然に囲まれた広野町で、復興に向けて歩む広野町や双葉郡をはじめ、県内外の子どもたちが様々な童謡や唱歌を元気に披露します。また、プロ童謡歌手による演奏披露も予定しており、数々の童謡・唱歌のふるさとである広野町に美しいハーモニーが響き渡ります。



**日時** 10月20日(日) 開場13時(開演13時30分)  
**場所** 広野町中央体育館(双葉郡広野町中央台1丁目-1)  
**問** 「ひろの童謡まつり実行委員会」事務局  
 広野町役場総務課企画グループ ☎0240-27-2114

## 川内村 2013 かわうち復興祭

「2013かわうち復興祭」が川内村“いわなの郷”で開催されます!! 当日は、ステージライブやアトラクション、体験イベント等、子どもからお年寄りまで幅広い世代が楽しめる企画が盛りだくさん。川内村の実りの秋や食と農の安全・安心も体感できるイベントとなっています。

**日時** 10月20日(日) 10時~15時  
**場所** 「いわなの郷体験交流館」施設前広場・施設内(双葉郡川内村大字上川内字炭焼場516)  
**問** 2013かわうち復興祭実行委員会事務局  
 川内村復興対策課 ☎0240-38-2112



自然の村長  
モリタロウくん

# ふたば広域ライブカメラ

双葉郡8町村の現在の様子が映像でご覧になれます

インターネット上でふるさとの様子が確認できるサービス「ふたば広域ライブカメラ」が8月1日にスタートしました。このサービスは、双葉郡8町村の約130箇所にライブカメラを設置し、避難によりふるさとから離れて暮らす方々に、リアルタイムで「いつでも故郷が見える」安心感を提供するとともに、地域コミュニティの再生を推進することを目的に整備されたものです。

## ふたば広域ライブカメラ



### ライブカメラのある町村

広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村

WEBサイトのほか、上記8町村役場内の大型モニターでもご覧いただけます。

**ふたば広域ライブカメラ**   
**問** 双葉地方広域市町村圏組合 ☎0240-27-4665



平成25年7月26日、避難指示解除準備区域のうち、除染の完了、生活に必要なインフラ等の復旧などの一定の要件を満たす区域を対象として、避難指示解除後の生活再開等の準備のため、住民・事業者等の宿泊を可能とする新たな制度が設けられました。

8月1日より、田村市都路地区では、他市町村に先立ち当該制度による宿泊が実施されています。

**問** 帰還に向けた準備のための宿泊  
 内閣府原子力被災者生活支援チーム  
 ☎03-5545-7496

他市町村においては、今後、除染の進捗やインフラ等の復旧状況などを踏まえ、検討がなされます。

※詳細は経済産業省WEBサイトをご覧ください。



# ふるさとへの帰還に向けた準備のための宿泊について

## 原子力損害賠償 不動産鑑定士による巡回相談のご案内

福島県では、東京電力への宅地・建物に関する損害賠償手続について、県不動産鑑定士協会と連携し、不動産鑑定士による対面相談を実施しています(相談料は無料、相談時間は30分)。9月下旬からは、新たに県外でも相談会を開催します。

### 相談できる内容

- ・宅地、建物の賠償額の見方や算定の方法について
  - ・宅地、建物の「現地評価」の実施について等
- ※東京電力から送付される「宅地・建物・借地権賠償金請求書②」が手元に届いている方(個人)が対象となります。

### 不動産鑑定士 巡回相談日程表【県外】

開催地	日時	開催場所
宮城県	9月29日(日) 13時~16時25分	仙台市青葉区中央市民センター会議室(2) (宮城県仙台市青葉区一番町2丁目1-4)
埼玉県	10月6日(日) 13時~16時25分	大宮ソニックシティ704会議室 (埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7-5)
東京都	10月14日(月・祝) 13時~16時25分	東京文化会館 中会議室1 (東京都台東区上野公園5丁目45)

※福島県内における巡回相談の日程等は、左記までお問い合わせください。

相談を希望される方は、事前予約が必要となりますので、左記までお問い合わせください。

**問** 原子力損害の賠償等に関する問い合わせ窓口  
 ☎024-523-1501  
 (平日:8時30分~17時15分)



## 市町村からのお知らせ

郡山市保健所放射線健康管理センターにおいて、ホールボディカウンタによる内部被ばく検査を実施しておりますが、4歳未満児についても検査体制が整ったため、7月下旬から検査を開始しました。

**実施場所** 放射線健康管理センター(郡山市保健所1F)

実施状況	内容
①	4歳未満のお子さん(概ね1歳から3歳)年齢ごとに、順次、申込書を送付しております。
②	妊娠中の方、震災当時18歳以下の方未受検の方は、随時申込を受け付けております。
③	震災当時19歳以上の方「ふるさと再生除染実施計画」の区域別順位により、順次、申込書を送付しております。

### これまでの検査結果

平成25年8月末までに受検された約54,500人のうち、検査結果が判明している方の生涯における体内からの内部被ばく線量は全員1mSv未満となっております。



## 伊達市 県外避難者相談窓口の開設について

伊達市では、本市からの避難世帯の多い山形市、米沢市、新潟市に相談窓口を開設しました。今後は、相談窓口を拠点として、行政相談会や交流会等の開催を予定しています。お茶、コーヒーなどを用意してお待ちしておりますので、お気軽にご利用ください。

※各窓口の案内図は伊達市ホームページに掲載しています。

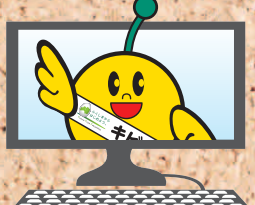
**問** 保健所放射線健康管理センター  
 ☎024-924-0201

**問** 市民生活課賠償支援係  
 ☎024-575-1126

市町村	場所	相談日	問い合わせ
山形市	城西町1丁目7-19「NPOりとる福島」内	火・金曜(9時30分~15時30分)	☎070-5474-0455
米沢市	門東町3丁目3-7「ふわっと」内	火・木曜(9時30分~15時30分)	☎070-5473-8543
新潟市	東区猿が馬場2丁目2-16「ふりっぽはうす」内	火・木曜(10時~16時)	☎070-6460-2051

## 県外に避難されている方々へ

福島県では、全国で支援活動を行っている団体と連携して、お住まいの地域・都道府県で開催される交流会や困ったときに無料で相談できる窓口など、各種支援情報を取りまとめたホームページを開設しています。ぜひご利用ください。



### 全国に避難されている方々のための地域情報サイト

避難されている方々へ   
<http://fukushima.jpn-civil.net/>  
 ※避難者支援課HPからご覧いただけます。



携帯からもご利用  
できます。

## 除染情報プラザからのお知らせ

この番組は、福島市出身のタレントなすびさんが、放射線や除染など福島で暮らしていくうえでのギモンについて、除染現場や仮置場などを実際に取材し、レポート形式でわかりやすくお伝えしている番組です。

※放送を見逃した方、放送エリア外の方は、ホームページから内容を確認することができます。

毎週土曜日 17時55分よりON AIR

### 過去回はこんな放送をしています!

- 第1回 「仮置場って大丈夫?」
- 第2回 「除染が進む伊達市の取り組み」
- 第3回 「除染って必要な?」

過去の放送内容はこちらから  
<http://nasubinogimon.jp/>  
 なすびのギモン

## 編集後記

9月に入り、暑さも幾分しのぎやすくなってきたような気がしますが、お住まいの地域はいかがでしょう。「ふるさとの復興の状況を知りたい!」との声を受けて始まった当新聞も、創刊号の発行から約1年を迎えました。今号では、寄せられた声の中でも特に多かった「住まいの安心」をテーマとした情報を中心に掲載しています。「ふくしまの今が分かる新聞」は読者の皆様の声をもとに作られています。今後とも宜しくお願いします。



## 読者アンケート

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で **合計10名様に、プレゼントが当たります!**

常夏の楽園!  
**スパリゾート  
 ハワイアンズ チケット**

全国のデパートなどで使える!  
**JTBナイスギフト  
 3,000円分**

郵便はがきにて「こんな情報が知りたい!」「こんな情報があれば役に立つ!」というご意見をお書きの上、住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記して下の宛先までお送りください。

応募先 〒960-8670  
 県庁避難者支援課「読者アンケート」係

締切 10月11日(金) ※当日消印有効

※お預かりした個人情報(プレゼントの発送にのみ使用いたします。)  
 ※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

さらに外れた方の中から抽選で **5名様**

**5名様**

読者の皆さまからいただいた声

復興公営住宅の情報が知りたい

除染の取り組みや進捗状況はどのようになっていますか?

避難者同士で集まる交流会やイベント情報を紹介してほしい!

今後の誌面づくりに反映してほしいです。

